

2024年5月22日

MM Capital Partners2 号株式会社

『MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド2号』による
ドイツ・ルーフトップ太陽光発電ポートフォリオ案件の取得について

MM Capital Partners2 号株式会社（社長 後藤朝英）（以下、「MMCP 社」）が管理・運営する『MM キャピタルインフラストラクチャー・ファンド 2号』（以下「本ファンド」）は、2024年5月10日、欧州における最大の分散型（一般家庭向け）脱炭素化事業の一つである、ドイツの住宅用ルーフトップ太陽光発電ポートフォリオ事業の持分 19.9%を取得しました。本件はドイツのエネルギー転換ビジネスの先駆者でありルーフトップ太陽光発電システム市場のリーダーである、Enpal 社によって開発された戸建て用の太陽光発電ポートフォリオです。本ファンドは、本件買収を Equitix 社及び Keppel Infrastructure Fund Management 社と投資 SPC を通じて共同で実施し、3 社共同で対象事業の 90%持分を保有します。(Enpal 社が残りの 10% 持分を保有。)

本件は、本ファンドにおける脱炭素及び再生可能エネルギー分野への初の投資となり、本件投資により、運用資産規模は 200 億円超となりました。

MMCP 社はグローバルインフラファンドの運用マネージャとして、優良インフラ資産への更なる投資実現に努めていくとともに、運用資産の収益向上を図るなかで、資産運用面からも持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

【本案件の概要】

名称：	ドイツ・住宅用ルーフトップ太陽光発電ポートフォリオ案件 ("cor 93. GmbH & Co. KG" ("JVCo") 株式 19.9%の取得)
持分比率：	Radiant Infra Holdings Pte. Ltd. (an indirect wholly-owned subsidiary of KIT (through the KIT Trustee-Manager)) 50.0% Equitix European Infrastructure II LP. 26.22% MM Capital Infrastructure Fund II, L.P. 19.9% Equitix MA 22 Capital Eurobond Ltd. 3.88% *JVCoは当該ポートフォリオの90%株式を保有、残りの10%はEnpal B.V.が保有。
事業内容：	太陽光発電設備、蓄電システム、EVチャージャーポートフォリオの所有 及びドイツ国内の一般家庭との長期リース契約に基づくリース事業。(リ ース期間：20年間)

【MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド 2 号概要】

名称	MM Capital Infrastructure Fund II, L.P. (ケイマン籍リミテッド・パートナーシップ)
運営・管理会社	MM Capital Partners2 号株式会社
事業内容	海外インフラ資産 (交通分野・エネルギー分野・社会インフラ分野等) へのエクイティ投資。OECD (経済協力開発機構) 加盟国が対象。

【ファンド運営・管理会社概要】

名称：	MM Capital Partners2 号株式会社
所在地：	東京都中央区
代表者：	後藤朝英 (代表取締役社長)
出資比率：	丸紅株式会社 90% 株式会社みずほ銀行 5% アセットマネジメント One 株式会社 5%
事業内容：	MM キャピタル・インフラストラクチャー・ファンド 2 号の運営・管理

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
MM Capital Partners2 号株式会社 03-5542-1025